学校番号	3001

令和２年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１　（日本文教出版）						
副教材等	な　し						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

芸術作品は色と形で成り立っています。もちろんそれらを使って何を表現するかが大切です。本校では1年次で美術全員選択という学校選択の形をとっていますので、基礎に立ち返り、「色と形」を意識した課題を展開します。

1学期…構成力の育成と、道具の扱いなどを通して、基礎を再確認する。
2学期…版画及び、型紙という技術技法を通して表現する力を育てる。
3学期…テーマに沿って表現する力を育てる。

段階を踏まえた指示に留意し、ただ描くのではなく目的を意識してください。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や観賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	美術ってなんだろう	【観賞】 ・オリエンテーション 教科書を観賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。 授業の受け方、用具・道具の説明、作品制作における心得等 ・クロッキー	○ ○		○	○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 c:クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。	学習活動の様子 制作の様子 作　品
	色を学ぶ	【デザイン】 ・色彩基礎 ワークシートを使い、色鉛筆で彩色。使い方とあわせて色彩について学ぶ。	○		○		a:色の働きについて再確認し、今後の作品作りへの意欲を高めている。 c:色鉛筆での色使いを学び、色の幅を表現している。	学習活動の様子 制作の様子 ワークシート
	ウエルカムカードをつくろう	【デザイン】【観賞】 ・ポップアップカードの制作 本校体験入学参加中学生への配布を目的にカードを制作 色鉛筆による表現 ・相互鑑賞	○	○	○	○	a:園芸高校のイメージを表現することに関心を持ち、主体的にポップアップカードの制作を楽しんでいる。 b:中学生へのプレゼントカードを色の働きを意識して制作している。 c:目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かしカッターナイフの使い方を学んでいる。 d:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	制作の様子 製作途中の作品 作品
	「72」による色彩構成	【デザイン】 ・色彩構成 画用紙にアクリルガッシュ絵の具で着色する。 イメージに合うように明度・彩度・配色・構成等を工夫し表現する。	○	○	○		a:多くの色を作り、それらを使って表現することに関心をもち、配色による雰囲気の違いをだす。形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b:条件などから、配置や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:アクリルガッシュの特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。	制作の様子 製作途中の作品 作品

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
二学期	やさいたち	【木版画】【観賞】 ・一版多色刷り木版画 観察→描写 →再構成→彫り →刷り 木版画の特徴を理解し、作品に生かす ・教科書及び相互鑑賞	○	○	○	○	a:モチーフの特徴を表現することに関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 b:表現形式の特性を生かし、形体、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。 c:墨汁と筆、彫刻刀という用具に関心をもち、表現方法を工夫して表現している。 d:木版画のよさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	制作の様子 製作途中の作品 作品
	クリスマスカードの制作	【デザイン】【観賞】 ・スパッタリング技法によるクリスマスカードの制作 型紙の利用 ・既存の作品鑑賞	○	○	○	○	a:生活や社会を心豊かにする美術の働きやデザインの目的、条件、機能や用途などを考えて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b: クリスマスのメージを表現することに関心を持ち、かたちや色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。 c:筆やペンによる線表現ではなく、型紙による色面表現の面白さを理解し、表現方法を工夫している。 d:色の重なりによる発色の違いに理解を深めている。	制作の様子 製作途中の作品 作品
三学期	自画像	【絵画】【観賞】 ・マイ-セルフ(自画像) 自分を見つめ、A2パネルで自分らしさを表現し、作品化する ・教科書・既存の作品鑑賞	○	○	○	○	a:写真から形を起こす考え方を理解し、自分自身を見つめ、制作の意欲を高めている。 b:感情表現と色の関係を工夫し、自分らしさの表現の構想を練っている。 c:色のグラデーション表現を利用して、作品制作に生かしている。。 d:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	制作の様子 製作途中の作品 作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b: 発想や構想の能力
c: 創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。